

イモリ

発行日：2022年 12月 6日

最近の学校イモリたち

最近の学校のイモリたちは、相変わらずよちよちしていますが、とりあえずは生きています。

現在は、冬の活動停止期間を迎える前に、出来るだけ太らせようと頑張っています。本校のイモリは、おそらく痩せ気味の個体が多いです（これはお世話している側の飼育経験の不足によるものです）。なかなかたくさん食べさせることは難しいですが、試行錯誤しながら飼育を続けています。



↑まだピンセットからでしか食べてくれない

目最近はやうやく
冷凍アカムシ(解冻)を
食べるようになった

めっちゃ大変…… 食べないせいでいる……!

少し心配な個体は
教員のおうちに持って帰って
お世話をしています、
(ホットにしている、とさう)

右の写真のイモリたちは、教員のおうちに
住んでいただいているイモリです

テスト期間中……



Vol. 56

しんぶん

イモリしんぶんを
見る前に勉強
してね

やっとなるか?

発行：朝日塾中等教育学校 理科

排水口を
生き残ったイモリ



一度脱走して排水口で見つ
かたイモリ。発見したときは
虫の息でぐかもしていました。
3週間くらい絶って
ようやくエサを食べるようにな
りました(やせちゃった……)。



このちんすこうは中3からの
沖繩おみやげです。ありがた
ごとくにいただきました。

同じ年に生まれた個体ですが、一方は
テスト環境で飼育していた個体です。
ずっとあたたかい場所にいたので
毎日エサをしっかりと食べ、めっちゃ
大きくなりました。(ちんすこうサイズ)

残りの生存数(印体)……

51匹 (12月5日時点)

死は
しょうがない



……👤

次回 イモリの地域性